

## 置かれた場所で咲くとは？

こんにちは、フリップジャパンの藤井恵嗣です。  
まだまだ寒い日が続きますが、皆さんお元気ですか？

今日は「置かれた場所で咲くとは？」について一緒に考えたいと思います。

そこでまず、いつものように1つの質問をさせて下さい。

Q.あなたは今、自分が置かれている場所や環境をどのように捉えていますか？

たとえば、専業主婦として、毎日大変な家事をしていることをどう捉えていますか？

本当は入りたかった高校に入れず、今の高校に通っていることをどう捉えていますか？

如何でしたか？

人それぞれ「今、自分が置かれている場所や環境をどのように捉えているか？」によって、毎日の生活や生き方が大きく変わってくるように思います。

実は、「置かれた場所で咲くとは？」ということは、ノートルダム清心学園の理事長を務めていた渡辺和子さんの代表的な著書『置かれた場所で咲きなさい』で話題になったテーマです。

本の中で渡辺さんは次のように述べています。

“置かれた場に不平不満を持ち、他人の出方で幸せになったり不幸せになったりしては、私は環境の奴隷でしかない。人間と生まれたからには、どんなところに置かれても、そこで環境の主人となり自分の花を咲かせようと、決心することができました。それは「私が変わる」ことによるのみ可能でした。”

また、別の個所では次のように語っています。

“咲くということは、仕方がないと諦めることではありません。それは自分が笑顔で幸せに生き、周囲の人々も幸せにすることです。置かれた場所を変える、あるいは周囲の人々に変わってもらうのではなく、置かれた場所を自分の居場所として、あなた自身が変わりなさい。”

このような内容からこの本に対する賛否はさまざまあり、残念なことに、批判的な意見の中でも多かったのが「ブラックな労働環境にいる人にとっては追い打ちをかける主張である」という意見でした。

しかしながら渡辺和子さんの考え方は、ブラックな労働環境を助長するようなものではありません。ましてや学校で激しいじめにあっていない人、暴力をふるう親や夫の元に置かれている人に、そこにとどまり続けなさい、自分で変わりなさい、ということを行っているわけではありません。

彼女が最も伝えなかったことは、なんだったのでしょうか？

私の考えは、今自分が置かれている場所に対して「仕方がないと諦めている人」「置かれた場に不平不満を持ち、他人の出方で幸せになったり不幸せになっている環境の奴隷となっている人」に対して、置かれた場所を『今の自分の居場所』として捉えて、そこに留まるのも、そこから出て行くのも、『環境の主人』となって、自分の意思と選択で歩んでいくのだということを、彼女は伝えなかったのではなかったのかということです。

親を選んで生まれて来た人がいないように、多くの場合、私たちの人生の歩みは、自分で選んだということではないような環境や出来事に遭遇するものです。

だからこそ、置かれた場所で『環境の主人』となって生きることが大切なのではないのでしょうか？

そう生きる時に、「自分の人生を生きて、自分の花を咲かせる」ことができるのではないのでしょうか？

あなたは どう考えますか？「環境の奴隷」となっていますか？

フリップジャパンでは、お互いが置かれた場所で花を咲かせ、互いの花の美しさを味わえる関係（社会）でありたいと願っています。

最後に渡辺和子さんの言葉を紹介します。“幸せは自分の心が決めることです。人が幸せにしてくれるのを待っていても、年を取るだけ。

自らが咲く努力をするしかありません。でも、どうしてもここでは咲けないと見極めたら、場所を変えたらいい。その自由は奪っていません。

私の教え子の中にも、離婚をして幸せになった、あるいは転職をして幸せになった人もいます。

ただし、置かれた場所のせいばかりして、自分が変わる努力をしなければ、決して幸せを得ることはできないのです。”



Keishi Fujii  
Grow Life

## New at Flip!



We just added three new card games! Are you ready to play Splat!, Food Fight, and Tornado? We hope so, because these games are really fun! Students have a fun time playing while learning and using their English!

We have added a new series of books to our lending library! Parents now have more opportunities to help their children learn to read English. Based on the latest research into early reading, this brand new reading course from Innova Press is designed specifically for children whose first language is not English.



The first two Qdee robots have arrived at Flip! Let's have fun together exploring the world of robots and programming! Starting this spring, Flip will offer special English immersion opportunities.

Powerful! Exciting! Discover the microscopic world! Foldscope microscopes are coming to Flip in 2019! In English, let's discover the small world that is around us! Students are going to love the combination of science and English.



We are committed to providing excellent educational resources to all the students and families at Flip Education Center.